

# 天声人語

ときは紀元前3世紀の春秋戦国時代、秦のある村に「信」という貧しき孤児がいた。歩兵として戦地に身を投じ、輝かしい武功をあげる。倒れた名将たちから後を託され、「百将」「千人将」「五千人将」と異例の出世を遂げる▼漫画『キングダム』である。連載は13年目、「信」は將軍昇進に迫り、仕える始皇帝は中国制覇に突き進む。戦乱の世の若者たちの野心をすがすがしく描いて飽きさせない▼大相撲で土俵をわかせる若手力士たちはいま、「信」のような心境だろうか。場所が始まつてから上位陣が次々に休場を決め、気がつけば3横綱に加え、優勝候補だった新大関の姿もない。力ド番の2大関は序盤で星を落とした▼若・貴兄弟と曙の3横綱がそろつて休場した1999年の春場所以来の珍事だという。「非常事態」「異常事態」「俄然混沌」。スポーツ紙にはそんな文字が躍る▼とはいっても乗り越えられぬ事態ではない。目を企業に転じれば、不祥事などを受けて会長や社長、役員らが総退陣する例は枚挙にいとまがない。社内はいつとき動搖するものの、結果としてはしばはある。世の中万事塞翁が馬である▼横綱や新大関のふがいなさを嘆く声をしきりに聞く。しかし、これまで優勝争いとは無縁だった力士たちにとって、今場所は千載一遇の好機である。漫画の主人公「信」のように、一気に番付を駆け上がるのも夢ではないだろう。群雄割拠の名古屋場所から目が離せない。

2018・7・17